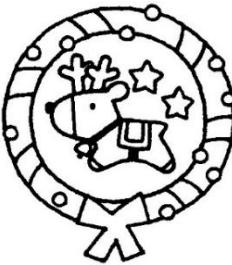




あたらしい本

第264号 2025.12.15 発行 (こども版)



たくさんよんでくださいね！

「ゆきのひのさんぽ」 とりごえ まい/作 アリス館 (えほん 幼児向き)

この冬初めての雪が降り、そらくんとねこのチャイは森へ散歩へ出かけました。木の実や葉っぱ、枝でいろんな雪だるまをつくりますが、次の日、ゆきだるまの目や鼻にした木の実がなくなっていて・・・。

「つまようじの王さま」 おう かねこ まき/絵 二宮 由紀子/文

ぶんけんしゅっぱん 文研出版 (えほんのもり) (えほん 幼児向き)

つまようじたちに「王さま」と勘違いされたマッチ棒。王さまらしい態度を取ったり、かっこいいことを言ったりしますが、ほんとうは、燃えて灰になるのが怖くて、マッチ箱がひっくり返った隙に逃げてきていて・・・。

「アナトールとおもちゃ屋さん」 ポール・ガルドン/文

こうがくしゃ イフ・タイタス/さく 好学社 (えほん 小初向き)

にんげん 人間のチーズ工場で味見係として働いているねずみのアナトール。ある日、家族がわる 悪いおもちゃ屋さんに捕まって見世物にされてしまいました。アナトールは、家族を助けるため計画を立てますが・・・。

「絵本ってどうやってつくるの？」 ダニエル・ナップ/作 若松 宣子/訳

しゅっぱん ほるぷ出版 (えほん 小初向き)

やあ、ぼくはネズミのコンラート。絵本のつくりかたを教えてあげる！お話しのアイデアが生まれてから、企画をとおして、契約書をかわして、原画をかいて、印刷して、そして本屋で売られるまでを描く。

「魔法のつららペン つららペンと氷の国」
アサバ マリエ/絵 静山社 (よみもの 小中向き)

文字を書くことが苦手で悩んでいた小学4年生のゆきのは、ある日、橋の上でつららをひろった。右手にぴったりとペンのようにはまり、字を書いてみると、教科書のようなきれいな文字がすらすらと書けて・・・。

「ねぎのねぎしくん」 戸森 しるこ/作 伊野 季行/絵
講談社 (よみもの 小中・小上向き)

ねぎはねぎとして生きてゆかねばならない。食べられるときがきたら、おとなしく食べられる。それがねぎのおきて。そして、ねぎの幸せ・・・。しゃべるねぎ「ねぎしくん」との会話から「幸せのありかた」が伝わるユーモア童話。

「ミャルル・ペローに出会った夜」 野中 桜/作 PEIACO/絵 理論社
(よみもの 小上向き)

遠くから旅をしてきた、ねこのニッキ。ある夜、はじめて訪れた街で銀色の美しいねこに出会いました。その名も、ミャルル・ペロー！ニッキがミャルル・ペローに案内されたところは・・・。

「あの日、ともに見上げた空」 黒田 季菜子/作 トミイ マサコ/絵
Gakken (ティーンズ文学館) (よみもの 小上向き)

小学5年生の私には、ひとつ上の兄がいる。兄は突然叫んだり、駆けだしたり、私とは全然違う人間だ。そんな兄がインフルエンザで修学旅行に行けなくなっこことから、周囲をまきこんだ「やりなおし修学旅行」が始まり・・・。 [小川未明文学賞 大賞 (第33回)]

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

*図書館流通センター「新刊全点案内」より引用